

会派名：『品川改革連合』 令和2年度の政務活動概要報告書

会派名 品川改革連合

代表者名 須貝行宏

政務に係る調査活動の概要について下記の通り報告します。 令和3年 5月 26日

① 令和2年度の政務活動概要報告は、「須貝行宏」、「藤原正則」、「筒井ようすけ」の3名で活動しました。
『品川改革連合』は、大半の区民生活や区内産業の経営が厳しい状況にあるならば、区民から選ばれている議員は自ら身を切るべきと考え、議員定数と議員経費の削減に努め、区民生活や区内産業を支援するために活動しています。

② 政務活動費の概要報告の期間は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの12ヶ月分です。

③ 政務活動費の収支報告

議員一人につき月額19万円で、会派の所属議員数を乗じた額を品川区（税金）から交付されます。

○ 会派に交付された政務活動費の総金額は684万円です。

684万円＝19万円×3名×12ヶ月

○ 使用した政務活動費は、529万8086円です。

○ 返納した政務活動費は、154万1914円です。

会派が使用しなかった金額は、品川区に返納（返金）しました。

④ 主な政務活動は、下記の項目について調査研究しました。

新型コロナウイルス感染の世界的蔓延は、国民の命と健康、家計や企業経営に甚大な被害を与え、さらに国民に恐怖と不自由な暮らしをもたらしています。特に緊急事態宣言の時短や営業の抑制により、消費の激減から企業経営は悪化し、休業・廃業や倒産が増大しています。企業はリストラに走り、勤労者は労働時間の減少・雇い止め・失業などで、所得は激減し国民の暮らしは悪化の一途をたどっています。今は感染拡大を回避し、区民の命と健康と生活と雇用を守る対策を優先し、終息まであと4年かかる道のりを品川区は乗り越えて頂きたい。またこのさき歳入激減が見込まれるので行財政改革を推進すると共に、コロナ以外の病気からも区民の健康と命を守るために社会経済活動の再開に努め、さらに区内産業を支援し、この地球規模の非常事態を乗り越えて頂きたい。そして介護・保育・看護従事者の低賃金を改善したり、羽田新飛行ルートの固定化を避けるために国や都に働きかけて頂きたい。さらに世界中で多くの犠牲者が出ている最中、変異ウイルスが急拡大し緊急事態宣言の地域が拡大している最中では、今年の東京五輪は中止し再度、延期するべきです。

●医療、保健 医療現場が崩壊危機に直面する地域が増えています。原因はマスクを外した状態での飛沫
東京五輪中止 感染と換気しない密閉空間なので、飲食店・会議室ほかの全店舗や施設に左右と前に仕切
と再延期 り板設置と換気設置義務化の必要性について 東京五輪は中止し再延期する事について

●学校、教育 小中学生の低学力層の把握と底上げと感染症と学校教育について

●高齢者・子育て・障害者 保育士・介護ヘルパーの不足、低賃金と感染対策、労働環境の改善について

●中小零細企業 時短・休業要請や営業自粛の影響で、大企業を含む大半の企業は売上げが急落し、多額の
失業 融資や補助金・助成金・不平等な協力金を受けながら存続しています。そして雇用の喪失
、失業者も増加しています。企業や個人に対する緊急給付や緊急融資について、そして企
業規模に応じた支援策で企業と雇用を守る事について

●行財政改革 所得の激減、企業経営の存続危機！区議会議員は身を切るべき！について

●環境対策 危険な羽田の低空飛行ルート（落下物、墜落事故、騒音）について

●震災対策と 東日本大震災から10年経過、コロナ禍のいま全国で地震が多発しています。また高層マ
高層建築物 ンションの廃墟化問題。 震災対策と高層マンション廃墟化について

●上記などのために書籍などの資料を購入し調査研究活動を致しました。

また、議会活動および区政について、区民からご意見を聞くとともに、その広報活動を致しました。